

心に届く 信心真話

膝の傷はおかげの証し

左 膝（ひざ）にある3センチほどの傷あとを見るたびに、井坂孝行さん（51）の心には、「両親は私のことを心配して、苦勞してくれたんだな」という思いがよぎります。その傷は今から50年前にできたのです。

孝行さんは生後一年半が過ぎ、つかまり立ちの時期を迎えても、なかなか足が立たず、自分で歩

こうともしませんでした。最初は気にしていなかった両親も、次第に「おかしい」と感じるようになり、教会にお届けをして、病院で診察を受けてみることにしたのです。

医師の診断は、「股関節脱臼で、将来普通に歩くことは難しい」というものでした。驚いた両親は、「何とか普通に歩けるように」と教会で願い、同時に、近

隣から遠方まで十カ所以上の病院を訪ね歩きましたが、どこも同じような診断でした。当時の医療技術では有効な治療が難しかったのでしよう。

そんなある日、ついに「治るかどうかわかりませんが、できる限りの治療をしてみよう」と言ってくれた医師に、たどり着いたのです。

すぐに、腰から膝下まで覆うギプスをするようになりました。石こうを使って全体を固めた大変重いものですが、孝行さんにはまったく記憶がありません。当時のことは、後年になって母親から事あるたびに聞かされて知ったことです。

孝行さんの母親は、「これで歩けるようになるのなら」という思いで、重いギプスをした幼いわが子を抱え、約一年半の間、バスと電車を乗り継いで1時間かけて通院してくれました。



何とか歩かせてやりたい…

師さんがギプスをはきみで切っていくきましたが、膝の辺りを通った時に、誤って歯先が皮膚まで届いてしまったのです。その時に負った傷が、今も孝行さんの左膝に残る小さな傷あとでした。

孝行さんの母親はギプスが取れた後も、リハビリやマッサージのため、孝行さんを抱えながら通院を続けました。

がて孝行さんが幼稚園に入園するころには、医師も驚くほどの回復を見せ、普通に歩けるようになりました。そして、小学校ではリレーの選手に選ばれるまでになったのです。

すっかり健康体になったわが子に、母親は、「不安で苦しいこともあったけど、あきらめずに神様にお願ひしていたら、治療してくださるという病院が見つかり、本当にうれしかった」「治療がうまくいって、ギプスが取れる時が一番うれしかったけど、看護師さんの不

手際で、あなたの膝に傷ができた時は腹が立ったわ」と、当時の様子を繰り返し話し、それが孝行さんの心に、神様のおかげ、親の慈愛として刻まれていったのです。

現在、両親の信心を受け継ぐ孝行さんは、母親のように、神様から受けたおかげを子どもに伝える大切さを感じています。

金光四神（しじん）様は、「初めにおかげを頂いたことを一代忘れずにおりさえすれば、出世繁盛はさせてやる」と教えてくださっています。

生きていくと、先のことばかりに心をとらわれ、これまで受けてきたおかげの喜びを忘れてしまふことがあります。孝行さんは左膝の傷を見るたび、そのことを思い、「親の祈りと愛があればこそ今であり、親への感謝を忘れることのないように、神様が膝の傷を残してくださったに違いない」と思うのです。

※このお話は実話をもとに執筆されたものですが、登場人物は仮名を原則としています

INFORMATION

● 問い合わせ先 金光教東近畿教務センター TEL 075-662-6333

● 会場 防長青年館パルトピアやまぐち（山口市、原爆死没者之碑前（同））

● 内容 語り部・竹田国康氏による「原爆の語り」、慰霊・祈願祭など

● 問い合わせ先 室積教会 河合信一 TEL 0833-78-0355

● 日 時 7月12日（土）午後1時～4時

● 内容 講演（講師 ヒュー・ブラウン牧師）、パネルディスカッション

● 会場 京都市呉竹文化センター

● 日 時 7月13日（日）午前10時30分～午後零時45分

● 問い合わせ先 室積教会 河合信一 TEL 0833-78-0355

「金光新聞編集室」のEメールアドレス kses@konkokyo.or.jp

次号の予告 7月20日号

エンディングサポート（2、3面）
老いと死を見つめて

家庭や介護現場での実体験を踏まえながら、老いと死とどう向き合ったのか、また、高齢の人にとっての信心や参拝の意義などについて考える。

いつも金光新聞をご愛読いただきありがとうございます

8月からの新規購読・部数や住所の変更・購読中止などは7月21日まで受け付けます。それ以降は、9月からの変更になります。

「金光新聞」購読のご契約は、自動的に継続してまいります。購読料が切れましても購読中止にはなりませんので、部数の変更や中止の場合は必ずご連絡ください。

お申し込み・お問い合わせは 金光教徒社へ

CD付
ブックレット

幸せのたねが実を結ぶとき

～あなたの大切な人に「幸せのたね」を贈ってください～

「信仰は人から人へ伝わるもの」。そんなコミュニケーションが生まれることを願って、この『幸せのたねが実を結ぶとき』を作りました。あなたの思いと祈りを添えて、あなたの大切な人、幸せになってほしいと思う人に手渡して下さい。そして、あなたが感じた「幸せのたね」を、あなたの言葉で伝えてください。

絵と文 長野ひろかず 音楽 平阪慶次郎
協力 樹青二プロダクション 脚本・発行 小さな幸せのたね製作委員会

定価 735円（本体700円）※10部以上お買い求めの方は、送料無料

ご注文は金光教徒社へ 〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷338
TEL 0865-42-2037 FAX 0865-42-5087

大切なあなたに「幸せのたね」を贈ります。
CD（音声）とブックレット（絵と文）が響き合う世界
事業に基づいた感動のドラマ

あいはげよの生活運動

願ひ

わが心の神にめざめ
祈り、対話、行動をもって
神を現す生活をすすめ
共に助かる世界を生みだそう